

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神障害作業療法治療学演習			必修	1	3	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
池谷 政直		C311	ot_ikeya		木曜日 13:00~14:30	
授業の目的・概要	本科目では精神障害領域における作業療法士の思考過程と技術の展開方法を学修する。また事例基盤型学習を通して、精神障害領域における評価から治療までの一連の作業療法実践過程を理解する。そして生活障害に対する作業療法援助の方法と地域連携の取り組みを進めるためにアウトリーチの手法やそのマネジメント方法について説明する。					
学習上の助言	本科目は精神医学、作業療法評価学・治療学で学修した知識をもとに演習を行うため、これまでの学修内容の復習を十分に行っておくこと。演習・グループワークを中心とした授業を行っていくため、各自が主体性・自発性を持ち、メンバー間で協調性を持ち取り組む姿勢が大切である。					
教科書	指定なし					
参考書	図解作業療法技術ガイド 第4版/編：石川齊、古川宏/文光堂/2021					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神障害作業療法で用いられる治療技術について説明することができる				OT (1)、(2)、(3)	
②	治療者としての自覚を持ち、運営やリスク管理について検討できる				OT (1)、(2)、(3)	
③	作業療法プログラムの計画から実施までの一連の流れを経験する				OT (2)、(3)	
④	発表に向けたグループワークにおいて自身の役割に責任をもつことができる				OT (1)、(3)	
⑤	実施したプログラムの治療的根拠や患者への関わりにおける留意点を説明できる				OT (1)、(2)、(3)	
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	精神障害領域における作業療法介入について映像資料をみて議論する	講義・演習	授業資料を用いた予習・復習			1
2	心理教育に関連する理論と実践例を学習する	講義・演習	授業資料を用いた予習・復習			1
3	心理教育の演習 (ロールプレイ) を通して学習する	演習	授業資料を用いた予習・復習			1
4	心理教育の演習 (ロールプレイ) を通して学習する	演習	授業資料を用いた予習・復習			1
5	当事者主体のリハビリテーション、リカバリー型の支援について学習する	講義・演習	授業資料を用いた予習・復習			1
6	認知行動療法 (SST) の理論を学習する	講義・演習	授業資料を用いた予習・復習			1
7	認知行動療法 (SST) の演習 (ロールプレイ) を通して学習する	演習	授業資料を用いた予習・復習			1
8	認知リハビリテーション (NEAR、SCIT、MCT 等) について学習する	講義・演習	授業資料を用いた予習・復習			1
9	地域生活支援、就労支援、当事者活動について学習する	講義・演習	授業資料を用いた予習・復習			1
10	事例基盤型学習 (演習:事例紹介、統合と解釈)	演習・GW	配布した事例情報の精読、ICFで事例の全体像をまとめる			1
11	事例基盤型学習 (演習:焦点化、ストレングス、目標設定)	演習・GW	事例の生活を想定し、作業療法で解決可能な課題抽出をする			1
12	事例基盤型学習 (演習:作業療法実施計画の立案)	演習・GW	作業療法計画を立案するための文献検索・資料収集を行う			1
13	事例基盤型学習 (演習:作業療法実施計画の立案)	演習・GW	作業療法計画を立案するための文献検索・資料収集を行う			1
14	事例基盤型学習 (発表:作業療法実施計画に基づく治療プログラムの実践と振り返り)	演習・GW	プログラムの治療的根拠について文献を用いて理解する			1
15	事例基盤型学習 (発表:作業療法実施計画に基づく治療プログラムの実践と振り返り)	演習・GW	プログラムの治療的根拠について文献を用いて理解する			1
試	定期試験					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		70	0	30	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	70	0	10	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	0	10	
		評価のポイント					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に精神障害作業療法における評価・治療介入の実地知識に関する試験を実施して評価する。試験は作業療法士国家試験の出題範囲・形式に準ずる。 試験は総合評価の70%に換算する。					試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書等を参照して要点を再確認する。
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	第10回～15回は提示された精神障害事例の情報をもとに、作業療法実施計画を作成し、模擬的に患者に作業療法を実施する。実施したプログラムの治療的根拠や患者への関わりにおける留意点などを発表の中で説明できるかを評価する。 成果発表の成績は総合評価の30%に換算する。成績評価は配布するルーブリックに基づいて行う。					授業でのディスカッションを通して適宜フィードバックを行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>担当教員：◎池谷 政直</p> <p>本科目は面接授業を実施するため、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によっては再度シラバスを変更する可能性がある。</p> <p>教員の実務経験： 本科目を担当する教員は精神障害領域において作業療法士として10年以上の実務経験を有している。 実践的授業の内容： 配布資料と併せて実際の治療場面の映像など、視覚教材を用いることで学生の理解に繋げる。また臨床における治療で得た知見に基づき講義を展開する。</p>								